

放課後学びの教室

10月10日(水)

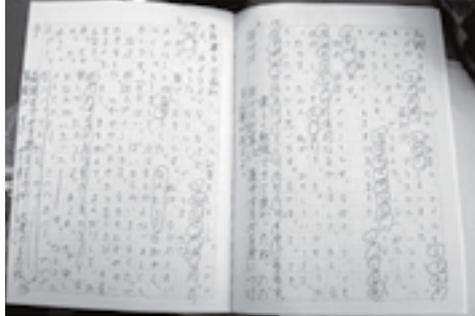
富来小学校 「学びの教室」

富来小学校では、4年生から6年生までの希望した児童15人の参加で開催されています。地域の教職員OBの皆さん5人が指導者となり、この日は100マス計算と割り算、百人一首を学習しました。会場となっている図書室では、学年ごとに指導者がつき、一人ずつ目の届く範囲で学習を進めていきました。百人一首の学習では、指導者の読んだ上の句に続けて、指名された学年が下の句を読みあげるなど、異なる学年が楽しみながら同時に学習する姿がありました。

最後に一人ひとりがその日の学習の反省を感想ノートに書いて、代表の子どもが発表しました。

指導者の花木英明さんは

「子どもたち一人ひとりの個性と勉強の進捗状況を指導者と相談します。また、担任の先生とも協力をしながら、学習内容の準備をします。これからも子どもたちが、楽しく、集中して学習ができ、学力が向上するように協力していきたいです」と話してくれました。



指導者がコメントを書き込んだ感想ノート

放課後子ども教室

10月17日(水)

武蔵西小学校 「料理体験」

武蔵西小学校の放課後子ども教室は、1年生から6年生までの児童25人が登録しています。料理教室やビーズを使ったアクセサリーづくりなどさまざまな教室が行われています。なかでも、大分農業文化公園や美術館などへの社会見学、ジュニアリーダーとの交流会などは、武蔵東小学校と合同で行われ、校区を越えた交流となっています。

この日、武蔵西地区公民館で行われた教室では、児童21人と5人の指導者が参加してチーズクッキーづくりに取り組みました。子どもたちはエプロンと三角巾を着けて準備ができると、2班に分かれて作業をスタート。麺棒や包丁を使う作業では、高学年の児童が中心となって、低学年の児童に声をかけながら、全員が順番に調理を体験しました。



武蔵西小学校「料理体験」

コーディネーターの伊藤恭子さんは

「包丁や油の使い方方を体験してもらおうと料理教室を行いました。高学年が中心となる学年の子どもたちが一緒に活動するなかで、リーダーへと育ってほしいと願っています」と話してくれました。

さらに深まる活動をめざして

教育長 山本 泰光

協育ネットワーク事業を国東市全域に展開するようになって今年度が2年目です。

地域の指導者(アドバイザー、ゲストティーチャー)の皆さんのおかげで、一年一年とその成果は確かなものとなってきました。子どもの社会性(あいさつ、規範意識)が高まるとともに、地域の方々の学校教育や子ども支援に対する関心が広まってきたことはうれしかぎりです。

今後は、図書館や歴史体験学習館、地区公民館などの生涯学習施設の取り組みとも連携して、地域での人と人との交流がさらに深まる活動をめざしていきたいと考えています。

子どもが育つだけでなく、大人の私たちも生きがいを感じることでできる地域総ぐるみの協育ネットワークに成長していくことを期待しています。多くの方々への参加、協力をお願いいたします。